・体験的な学習活動を通して，よりよい生活の実現に向けて工夫する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

ア　家族や自分の役割について理解し，生活の自立に必要な家族・家庭，衣食住，消費や環境等についての基礎的な理解を図るとともに，それらに係る技能を身に付けるようにする。

イ　家庭生活に必要な事柄について考え，課題を設定し，解決策を考え，実践し，学習したことを振り返り，考えたことを表現するなど，日常生活において課題を解決する力を養う。

ウ　家族や地域の人々とのやりとりを通して，よりよい生活の実現に向けて，生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。

(2) 内　容

職業分野

A　職業生活

ア　働くことの意義

働くことに対する意欲や関心を高め，他者と協力して取り組む作業や実習等に関わる学習活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。

(ｱ) 働くことの目的などを理解すること。

(ｲ) 意欲や見通しをもって取り組み，自分と他者との関係や役割について考えること。

(ｳ) 作業や実習等に達成感を得て，進んで取り組むこと。

イ　職業

職業に関わる事柄について，考えを深めたり，体験したりする学習活動を通して,次の事項を身に付けることができるよう指導する。

(ｱ) 職業に関わる知識や技能について，次のとおりとする。

㋐　職業生活に必要な知識や技能を理解すること。

㋑　職業生活を支える社会の仕組み等があることを理解すること。

㋒　材料や育成する生物等の特性や扱い方及び生産や生育活動等に関わる基礎的な技術について理解すること。

㋓　作業課題が分かり，使用する道具や機械等の扱い方を理解すること。

㋔　作業の確実性や持続性，巧緻性等を身に付けること。

(ｲ) 職業生活に必要な思考力，判断力，表現力等について，次のとおりとする。

㋐　職業に関わる事柄と作業や実習で取り組む内容との関連について，考えて，発表すること。

㋑　作業上の安全や衛生及び作業の効率について考えて，工夫すること。

㋒　職業生活に必要な健康管理について考えること。

B　情報機器の活用

職業生活や社会生活で使われるコンピュータ等の情報機器を扱うことに関わる学習活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア　コンピュータ等の情報機器の基礎的な操作の仕方を知り，扱いに慣れること。

イ　コンピュータ等の情報機器を扱い，体験したことや自分の考えを表現すること。

C　産業現場等における実習

実際的な学習活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア　職業や進路に関わることについて調べて，理解すること。

イ　職業や職業生活，進路に関わることと自己の成長などについて考えて，発表すること。

家庭分野

A　家族・家庭生活

ア　自分の成長と家族

自分の成長と家族や家庭生活などに関わる学習活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。

(ｱ) 自分の成長を振り返り，家庭生活の大切さを理解すること。

(ｲ) 家族とのやりとりを通して，家族を大切にする気持ちを育み，よりよい関わり方について考え，表現すること。

イ　家庭生活と役割

家庭生活での役割などに関わる学習活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。